

野村ハイパーブル・ベア7 (日本ハイパーブル7)

運用報告書(全体版)

第1期(決算日2020年2月12日)

作成対象期間(2019年2月27日～2020年2月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式／特殊型(ブル・ベア型)
信託期間	2019年2月27日から2021年2月12日までです。
運用方針	わが国の株価指数先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2.5倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。
主な投資対象	円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、株価指数先物取引を主要取引対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、利子・配当等収益等を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率			
(設定日)	円	円		%	%	%	百万円
2019年 2 月 27 日	10,000	—		—	—	—	220
1 期 (2020年 2 月 12 日)	13,006	0		30.1	—	247.7	8,961

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドは、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場全体の値動きの概ね2.5倍程度となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(設定日)	円		%	%	%
2019年 2 月 27 日	10,000	—	—	—	—
2 月末	9,799	△	2.0	—	1,319.7
3 月末	9,751	△	2.5	—	250.8
4 月末	10,965		9.7	—	275.3
5 月末	8,942	△	10.6	—	279.4
6 月末	9,785	△	2.2	—	249.9
7 月末	10,078		0.8	—	256.8
8 月末	9,055	△	9.5	—	244.8
9 月末	10,457		4.6	—	227.2
10 月末	11,889		18.9	—	252.6
11 月末	12,299		23.0	—	255.0
12 月末	12,809		28.1	—	259.8
2020年 1 月 末	12,051		20.5	—	245.6
(期 末)					
2020年 2 月 12 日	13,006		30.1	—	247.7

* 騰落率は設定日比です。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：13,006円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 30.1%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

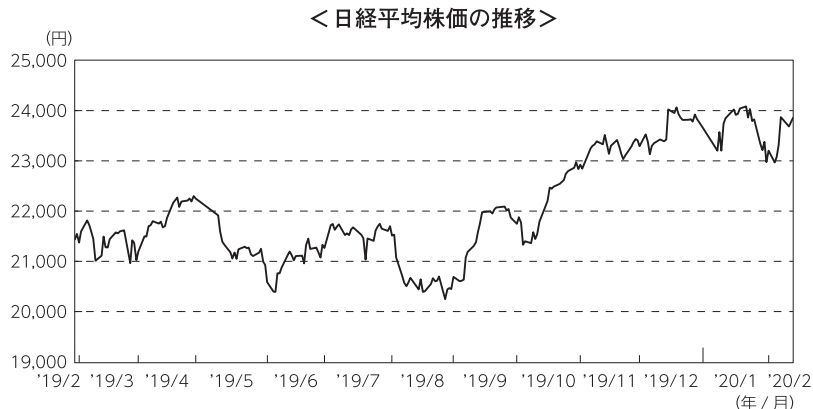
基準価額は、設定時10,000円から期末13,006円に3,006円の値上がりとなりました。

米中貿易協議の進展への期待や、日米企業の7－9月期決算が良好な滑り出しとなったことなどから国内株式市場は上昇し、基準価額は上昇しました。

○投資環境

国内株式市場は、設定日以降米中貿易協議の進展への期待から上昇したものの、中国やユーロ圏の経済成長率見通しが下方修正されたことなどをを受け、一進一退の動きとなりました。2019年5月には、国内企業の2019年3月期決算発表において新年度業績見通しが慎重であったことなどから下落し、8月には、米中貿易摩擦への懸念の高まりから米国株式市場が下落したことなどをを受けて下落しました。

9月以降は、米中貿易協議において歩み寄りが見られたことや、日米企業の7－9月期決算が事前予想に対して良好な滑り出しとなったことなどから上昇しました。その後も米中貿易協議の進展への期待が続いたこと、英国の総選挙において保守党が大勝し英国のEU（欧州連合）離脱を巡る不透明感が薄らいだことなどから堅調に推移しました。2020年1月下旬には、中国で発生した新型肺炎の感染拡大が世界景気に悪影響をもたらすとの見方が広がり、国内株式市場は下落しました。2月に入ると、新型肺炎を巡る懸念は後退し、国内株式市場は上昇しました。



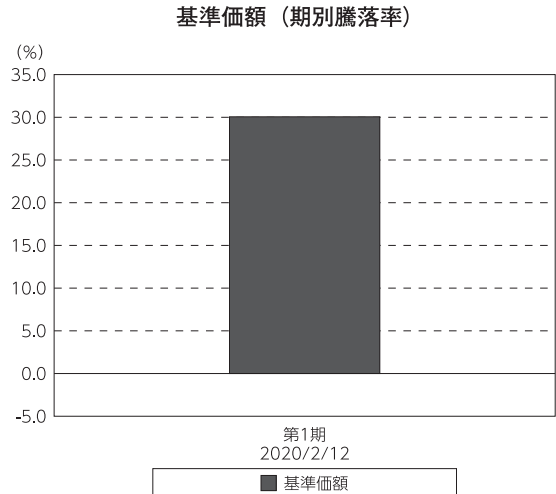
○当ファンドのポートフォリオ

国内の短期金融商品を組み入れると共に、日経平均株価指数先物取引を活用して日々の買建比率を250%前後に維持するように運用してまいりました。設定・解約がある場合は、設定金額と解約金額の差額分に対して、原則として、当日中に日経平均株価指数先物取引により対応を行ないました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場全体の値動きの概ね2.5倍程度となることを目指して運用を行うため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

○分配金

経費控除後の配当等収益や基準価額水準を勘案し、今期の収益分配は見送らせていただきました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり・税込み）

項 目	第 1 期
	2019年2月27日～ 2020年2月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,012

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

今後も、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場全体の日々の値動きの概ね2.5倍程度となる投資成果を得られるよう運用を行なってまいります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年2月27日～2020年2月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 115	% 1.079	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(48)	(0.455)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(62)	(0.582)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(5)	(0.042)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.059	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(6)	(0.059)	
(c) そ の 他 費 用	0	0.003	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	121	1.141	
期中の平均基準価額は、10,656円です。			

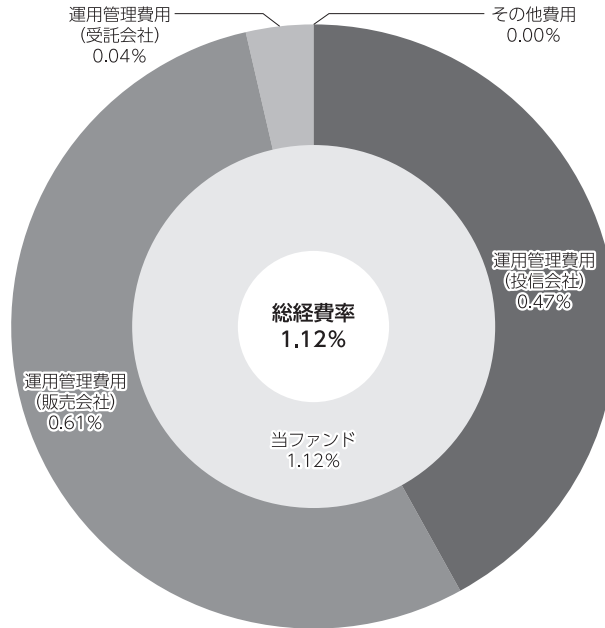
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.12%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年2月27日～2020年2月12日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 1,459,939,071	千円 1,454,633,240

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

○派生商品の取引状況等

(2019年2月27日～2020年2月12日)

先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘柄別			買建		売建		当期末評価額			
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	買建額	売建額	評価損	評価益
国内	株式先物取引	日経225	百万円 196,768	百万円 179,629	百万円 —	百万円 —	百万円 22,199	百万円 —		百万円 498

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年2月27日～2020年2月12日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式先物取引	196,768	196,768	100.0	179,629	179,629	100.0

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項目	当期
売買委託手数料総額 (A)	5,867千円
うち利害関係人への支払額 (B)	5,867千円
(B) / (A)	100.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2019年2月27日～2020年2月12日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 220	百万円 —	百万円 —	百万円 220	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2020年2月12日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	5,300,000	5,300,000	59.1	—	59.1	—	—
	(5,300,000)	(5,300,000)	(59.1)	(—)	(59.1)	(—)	(—)
合 計	5,300,000	5,300,000	59.1	—	59.1	—	—
	(5,300,000)	(5,300,000)	(59.1)	(—)	(59.1)	(—)	(—)

* ()内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
国債バスケット（変動利付・利付・国庫短期証券）※	—	5,300,000	5,300,000	—
合 計		5,300,000	5,300,000	

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

* ※印は現先で保有している債券です。

先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別			当 期 末
			買 建 額 売 建 額
国内	株式先物取引	日経225	百万円 22,199 百万円 —

* 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年2月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	5,300,000	55.4
コール・ローン等、その他	4,262,367	44.6
投資信託財産総額	9,562,367	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年2月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,559,987,193
コール・ローン等	2,203,643,002
公社債(評価額)	5,300,000,000
未収入金	498,306,645
その他未収収益	144,546
差入委託証拠金	1,557,893,000
(B) 負債	598,538,379
未払解約金	542,382,190
未払信託報酬	55,991,013
未払利息	551
その他未払費用	164,625
(C) 純資産総額(A－B)	8,961,448,814
元本	6,890,380,000
次期繰越損益金	2,071,068,814
(D) 受益権総口数	6,890,380,000口
1万口当たり基準価額(C／D)	13,006円

(注) 期首元本額は220,000,000円、期中追加設定元本額は56,643,500,000円、期中一部解約元本額は49,973,120,000円、1口当たり純資産額は1.3006円です。

○損益の状況 (2019年2月27日～2020年2月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 855,443
受取利息	△ 822,015
その他収益金	114,224
支払利息	△ 147,652
(B) 有価証券売買損益	44
売買益	△ 3,813
売買損	3,857
(C) 先物取引等取引損益	931,423,080
取引益	2,301,098,781
取引損	△1,369,675,701
(D) 信託報酬等	△ 110,719,210
(E) 当期損益金(A＋B＋C＋D)	819,848,471
(F) 追加信託差損益金	1,251,220,343
(配当等相当額)	(△ 3,979,959)
(売買損益相当額)	(1,255,200,302)
(G) 計(E＋F)	2,071,068,814
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	2,071,068,814
追加信託差損益金	1,251,220,343
(配当等相当額)	(△ 3,979,959)
(売買損益相当額)	(1,255,200,302)
分配準備積立金	820,703,914
繰越損益金	△ 855,443

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2019年2月27日～2020年2月12日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年2月27日～ 2020年2月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	820,703,914円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,255,200,302円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,075,904,216円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,012円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。